

子どもたちの安全なインターネット利用のために、 フィルタリングサービスの導入を

インターネット上には、子どもたちにとって有害な情報がたくさんあります。また、インターネット上のサービスの利用をきっかけに、子どもたちがトラブルに巻き込まれてしまうケースも少なくありません。そのような危険性を減らすためには、子どもたちが利用するインターネット機器にフィルタリングサービスを導入する必要があります。

フィルタリングサービスの主な機能

<ul style="list-style-type: none">子どもたちにとって有害な情報を含むサイトへのアクセスを禁止する 	<ul style="list-style-type: none">曜日や時間帯ごとにインターネットの利用時間を制限する（1日何時間までという制限を設けることも可能） 	
<ul style="list-style-type: none">有料アプリのインストールやアプリ内課金を禁止する 	<ul style="list-style-type: none">SNSや掲示板などへの書き込みを禁止する 	<ul style="list-style-type: none">子どものインターネット利用状況を確認する 

制限対象となっているサイト・アプリを個別に利用可能にすることも

保護者の方がフィルタリングサービスを導入していない理由としてよくあがるのが、「〇〇（サービス名）が使えなくなるから嫌だ」と子どもに言われたというものです。しかし、フィルタリングサービスには、利用制限の対象となっているサイトやアプリから、「これは使わせてもいい」と思うものを保護者が選んで個別に利用可能にすることもできます。



「青少年インターネット環境整備法」により、18歳未満の青少年が利用するインターネット機器には、原則としてフィルタリングサービスを導入することが必須となっています。保護者には、フィルタリングサービスの有効性を説明し、子どもが利用するインターネット機器に必ず導入するよう、うながしてください。

子どもたちには、安全なインターネット利用のためにフィルタリングサービスは必要であること、また利用制限の対象となっているサイト・アプリも個別に利用可能にできることを教え、各家庭でフィルタリングサービスの設定について話し合うよう、指導してください。